

3. 土壌深さと養分濃度の変化

土壌に与えた肥料は、表面から地中に容易に移動する養分と比較的移動し難い養分があります。これは、土壌の養分保持力と大いに関係があります。

幾つかの実測事例を以下に示します。

図1は、硝酸態窒素（ $\text{NO}_3\text{-N}$ ）の表面から20cm、40cm、60cmの深さにおける養分濃度を示します。20cm~60cmで大きく変化していないのが特徴です。

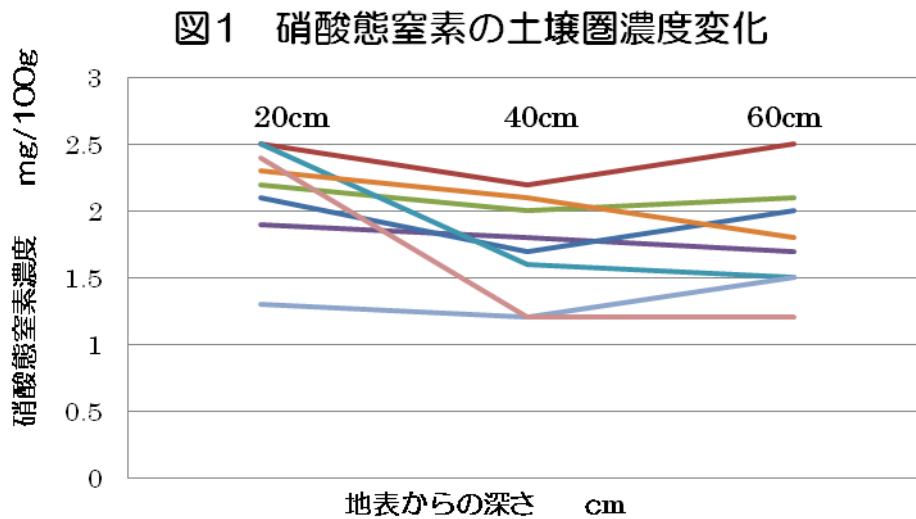


図1に対して、可給態リン酸の場合を図2に示します。硝酸態窒素とは、状況が異なります。可給態リン酸の場合は、微生物の分解などにより養分の移動が行われるといわれています。明らかに、表面濃度と表面から地中に入った部分では、濃度の変化が現れています。

